

2020年9月の行事予定表

1	火		16	水	
2	水		17	木	祈祷会
3	木	祈祷会	18	金	
4	金		19	土	
5	土		20	日	礼拝式
6	日	礼拝式、教会役員会	21	月	
7	月		22	火	
8	火		23	水	
9	水		24	木	祈祷会
10	木	祈祷会	25	金	
11	金		26	土	
12	土		27	日	礼拝式
13	日	礼拝式	28	月	
14	月		29	火	
15	火		30	水	

教会月報

2020年9月
No.352

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

新型コロナとの共生

『魂よ、この先何年もの蓄えができたぞ。さあ、安心して、食べて飲んで楽しめ。』しかし、神はその人に言われた。『愚かな者よ、今夜、お前の魂は取り上げられる。お前が用意したものは誰のものになるのか。』自分のために富を積んでも、神のために豊かにならないものはこの通りだ。」 ルカ福音書 12章 19-21節

昨年末から中国の武漢を発生源とした新型コロナウイルスの感染症は瞬く間に世界を席卷し、現在も脅威を広げています。

何もなければ、東京オリンピックが開催され、国内も世界中が盛り上がりを見せたことでしょう。海外から多くの人々がマスク無しで往来しているさまが目につかびます。しかし、緊急事態が宣言され、今もコロナ第二波が押し寄せています。いつ収束するのかわからないのが実情でしょう。解決策として安全なワクチンが世界中で使用されることを祈ります。

さて、イエス様は努力した農夫を責めているわけではありませんでした。以下に、与えられたものを自分のためだけではなく、他者と喜びを分かち合うことがなかった農夫について警告しておられるのです。

努力した後、収穫物を前にして納めきれないほどの収穫を得た農夫はつい独り言を言います。さあ安心せよ、と。しかしイエス様は農夫に対して、今夜魂が取り上げられる(死が訪れること)とするならば、死後、その豊かな収穫物は誰のものになるのかと。

私たちは毎日忙しく立ち振る舞います。また、中長期計画を立てて、将来の準備をします。それは良い事ではありますが、一番大切なことを見失っている農夫に警告されました。コロナの影響で、教会も大変な時を迎えました。しかし、この難を生かす知恵と信仰を持たせられたいのです。

牧師 永松 清

9月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

残暑というにはあまりに厳しい酷暑ですが、皆さんの体調管理はいかがでしょう？

今月は永松先生が毎日送信して下さっている《日毎の糧》の一部と、礼拝配信の裏側レポートをお届けしました。

コロナ禍によって通常の礼拝が行えない今こそ、それぞれが心からの祈りを捧げる時でしょう。主の恵みと励ましが全ての人にありますように祈ります。

コロナの影響で再度、共に礼拝に集うことが出来なくなってはやひと月。その間 Youtube による礼拝の同時配信が続けられ、また永松師からのみことばとショートメッセージが毎日送られています。今月号はそのショートメッセージと共に、Youtube 配信の舞台裏の様子をお伝えします。

《日毎の糧》☆☆み言葉の恵みに感謝して☆☆

日毎の糧・8月2日～8日 テーマ「神のみこころ」

8月2日(日) ルカ福音書 11:5-10

祈るときには…イエス様が祈るときについて教えておられます(主の祈り)。

真夜中の訪問者によって安眠が侵されるとき、断るも何回も願われるならば根負けして願いに応えるのではないかと問いかけられる。

人間は執拗に求められたら、応える存在であるように、祈りにはどんな時でも続ける必要性が示されます。

親が子に良いものを与えるように、神もあなたに求め続ける者には聖霊を与えてくださいます。

岡山ナザレン教会 牧師 永松清

日毎の糧・8月9-15日、テーマ「新しくされる」

8月15日(土) 詩編15:1-5

第二次世界大戦の敗戦75年の記念日を迎えました。早朝、岡山キリスト者平和の会主催の祈禱会が日本キリスト教団・岡山教会で開かれ、市内の教会の有志が祈りを捧げました。

コロナの影響で世界中が震撼しています。今後、今までと異なる歩みが求められます。

さて、本日の聖句、詩編15編から学びます。主なる神は信仰者に教えておられます。それは、肯定的な言い方で。反対に否定的な言い方で言い表しています。隣人に対する姿勢として(具体的には言葉や表現で)いかに生きるかということに尽きます。神の望まれる人の姿は、現在進行形(今まさに考え、行おうとしていること)の中にあると言えるのです。

岡山ナザレン教会 牧師 永松清

日毎の糧・8月16-22日、テーマ「絶望との戦い」

8月21日(金) 詩編27:3-5

信仰は苦難を経験することを通じて深まりを覚えます。

詩編の中でも信頼を表明する内容を持つ詩編として、最も美しいと言われています。なぜならば、苦難が大きければ大きいほど主に信頼することの喜びが深められるからでしょう。

さて、詩編の詩人は苦難の真ただ中であって、主なる神に全幅の信頼を寄せています。そして、信仰告白に続いて、願い(祈願)を述べます。内容は、主の家に住むことを!

今の時代に生きる私たちも、主イエス様と共に生きることを願いますが3節にあるようにたとえ何が起きても、私の心は恐れなく、私の信頼は揺るがない。との信仰に立ちたい!

岡山ナザレン教会 牧師 永松清

礼拝配信はこうやって行われている!

~Youtubeでのネット配信舞台裏を公開~

青線 — は従来通りの会堂礼拝の為の器具です。パソコン A の礼拝プログラムがプロジェクターを通してスクリーンに映し出され、音声は先生のピンマイクや別のハンドマイクなどからスピーカーに流れます。

これに加えて赤線 — は web 配信のために新たに用意したものです。パソコン B にカメラの画像と赤丸のスタンドマイクの音声を取り入れ Youtube で配信します。無線 LAN では画像が不安定なため有線でルーターと繋いでいます。そのためパソコン B からは沢山のコードが出ています。更にちゃんと配信が来ているかスマホで確かめています。写真のヘッドホンはスマホの音を聞くためです。

配信を重ねて不具合を修正しながら今の形になりました。右手でカメラを動かしながらパソコンの映像を確認しつつ、左手でスクリーンの映像を操作する、という器用なことを繰り返していました。自宅で礼拝ができる陰でこのようなご苦労があることを知りました。



私も礼拝配信見たい...



Y 兄ありがとうございます

